

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和 6年 2月 27日

事業所名: こどもサポートセンターゆうひが丘
児童発達支援事業 希路

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・お子さまが楽しく安全に過ごせるよう、活動内容に応じて環境調整に努めています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・絵カードやタイムタイマー、ソーシャルストーリーなど、お子さまに応じた支援内容を検討し、環境調整に努めています。	・今後も、お子さまの実態に合わせて、視覚支援の活用、療育室を仕切ること等、支援方法の検討に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・清掃、消毒、室温、湿度管理等を行っています。 ・加湿器等は日々清掃し、清潔な状態で使用するようになっています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・日々、療育の前後にミーティングを行い、より良い支援を提供できるよう目標設定や振り返りを行っています。 ・チーム会議では、全ての職員が意見しやすい会議運営に努めています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・本アンケートを通して把握した内容については、事業所内でも情報共有します。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・本アンケートを通して把握した内容については、事業所内でも情報共有します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・法人で発刊した「落穂会療育のてびき」を活用した学びの場を設け、職員の資質向上に努めています。またオンラインを含め外部研修は積極的に申し込み、職場内でも研修を企画、実施しています。 ・希望性により研修を受けられる機会も確保し、短時間で学べるスペシャルラーニングも導入しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			今後も、職員間で意見交換を行い、多角的な視点でよりよい支援計画が作成できるよう努めます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・新版K式発達検査2020や絵画語彙検査等のアセスメントツールを活用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・個別支援計画書にガイドラインの項目を記載し、ガイドラインとつながりのある、支援内容を検討しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・毎日、活動の前後にミーティングを実施し、支援計画に沿った本人への支援について意見交換を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・チーム職員で活動内容について検討し、季節や個々に合わせた活動プログラムを作成しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・年間の療育プログラムを作成し、内容が偏らないようになっています。 ・日々のミーティングにて、より子どもたちに合わせた内容になるよう検討し、随時、変更しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・公認心理士、言語聴覚士、理学療法士も参加し、支援内容を振り返り、次回に向けた検討について意見交換をしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・6ヶ月に1回、または必要に応じてモニタリングを行い、関係する職員の多角的な意見を基に、計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者やケース担当者が参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・ペアレント・プログラムや関係機関研修会等を実施しています。	・地域の中でお子さんや保護者が安心して過ごせるよう、関係機関との連携に努めます。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・現在、事業所に通所しているお子さんはいませんが、自宅を訪問して支援を行っています。相談支援専門員を中心に関係機関との連携に努めています。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・保育所等訪問支援を通して関係機関と連携し、情報の共有や提案に努めています。 ・関係機関からの見学は随時受け付け、対応しています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・公開療育への参加、開催をしています。 ・今年度は年2回、他事業所、幼稚園、保育園等へ案内を出し、関係機関研修会を実施し、職員の交流や学びの場を提供しています。	・幼稚園や保育園、関係機関からの見学は随時、受け入れております。お気軽にお問い合わせください。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・保育園等と併行利用されている方が殆どです。また、年齢が幼く未就園の方も安心して就園ができるようサポートを行っています。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・理事長が参加しています。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・些細なことでも保護者に報告しています。また、保護者が相談しやすいよう、面談や連絡帳アプリ、電話連絡等を活用し情報提供や提案を行っています。	
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・毎年開催しています。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・年長児を対象とした就学前個別相談や年中児以下を対象とした個別相談を実施し、ご要望や必要に応じて、随時、個別相談を実施しています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・随時、個別相談を実施しています。また、電話等、保護者に合わせて柔軟に対応できるよう努めています。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・継続して、個人情報の取り扱いについては、十分留意し対応します。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・秋祭りを実施し、みかん狩りや馬とのふれあい等の企画を行っています。	
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・子どもの状態に合わせて、安全に避難できるよう、避難の方法や訓練方法について検討しています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・医師の指示書により、栄養士と連携を図り、食事を提供しています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・全職員を対象に人権侵害防止に関する書類への署名等、虐待防止に向けた意識向上への取り組みを実施しています。		
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)